

閉塞性睡眠呼吸障害症状の改善を目的とした 顎顔面の外科的矯正治療について

日時 6月24日(日)14時～17時

会員・無料

会場 兵庫県保険医協会会議室 (神戸フコク生命海岸通ビル5階)

講師 名古屋大学大学院医学系研究科 頭頸部感覚器外科学講座 顎顔面外科学

服部 宇 先生

定員 120人 (事前申込順)

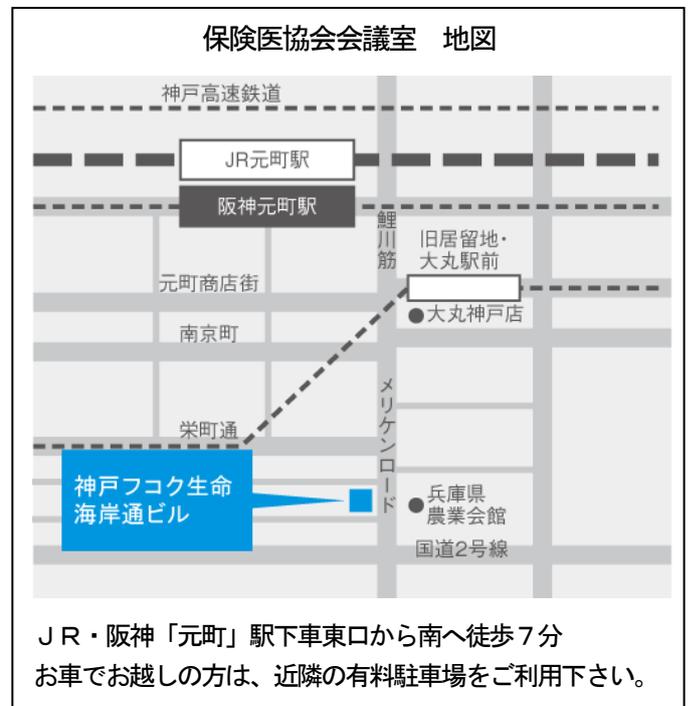
協会未入会の先生は、この機会にご入会の上ご参加下さい

睡眠呼吸障害患者において、終夜睡眠ポリグラフィ一検査 (PSG 検査) により中等度から重症と診断された場合、外科的に上部気道を拡大する軟口蓋形成術、鼻腔内軟組織のレーザー焼灼術(Phase I 治療)や上下顎の前方移動術(Phase II 治療)などを適応する場合があります。われわれは Nasal C-PAP の装着が耐えられない患者、Phase I 治療が奏功しない患者、もしくは Phase I 治療が未治療の閉塞性睡眠時無呼吸低呼吸症を伴う上顎後退症、下顎後退症の患者に外科的矯正治療 (歯列矯正治療+顎矯正外科手術) を行い、良好な結果を得てきました。

閉塞性睡眠時無呼吸低呼吸症を伴う上顎後退症、下顎後退症の患者では、睡眠時の気道狭窄部位、狭窄持続時間はさまざまであり、従来の審美を優先、E-line を基準とした歯列矯正治療、外科的矯正治療では、十分な治療効果が得られることは少ないものと思われま。われわれは、睡眠時 Dynamic MR 画像診断、咽頭鏡視を参考に、呼吸機能を優先した外科的矯正治療を施行することにより、呼吸機能の改善ならびに頭痛の消失、自律神経機能の改善が得られることを報告してきました。

今回、これまで行なってきた外科的矯正治療を行う上での診断、治療計画、効果の検討についてお話しさせていただきます。

【服部記】



参加申込書

6月24日 歯科定例研究会に参加します。

(返信 FAX:078-393-1802)

地区 (市区町) 医療機関名 ()

電話 () FAX ()

参加者氏名 ()